

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 2 年 2 部 2 年	子ども家庭福祉	竹中 直	
サブタイトル	子ども家庭福祉の理念や実施体系を理解する	単 位 数	2
授業形態	講義		
開講時期	後期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する 2. 子どもの人権擁護について理解する 3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系について理解する 4. 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する 5. 国際社会と子ども家庭福祉について理解する			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目では「専門職に関する知識・技能及び表現力を身につける」ことを目指し、グループワーク等を通じて「多様な協働学習を通じて豊かな人間性を身につける」ことを目標としている。			
授 業 の 方 法			
1. テキスト「子ども家庭福祉」を利用して授業を展開する 2. 必要に応じてプリント教材や視聴覚教材を利用して授業を行う 3. グループワーク等を通じてディスカッションを行う 4. 課題を設定して授業内でレポートをまとめる 5. 振り返りシートに記入し、その回の授業内容を整理する			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『子ども家庭福祉』全国社会福祉協議会 2019 年 参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』チャイルド本社 2017 年 『保育福祉小六法』保育福祉小六法委員会編 2019 年度			
評 価 の 要 点			総合評価割合
1. 授業内に実施した課題レポート 2. 授業への取り組み・貢献度 3. 定期試験			定期試験 70% レポート 20% 授業への貢献度 10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
子ども家庭福祉に関する制度やサービスについて受動的に理解するだけではなく、利用者の視点に立ち問題意識をもって考えていく習慣を身につけてほしい。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	今日の日本において子どもを持つ家庭が抱える問題を整理する	子ども家庭福祉の背景
2 回	子ども家庭福祉の視点・子ども家庭福祉による援助の考え方	この授業の基本的視点を理解する
3 回	子どもの人権擁護の歴史的展開	子どもの権利の確立過程を理解する
4 回	児童福祉法改正について	児童福祉法改正のポイントを理解する
5 回	児童虐待防止法・DV 防止法について	児童虐待や DV への取り組みについて理解する
6 回	子ども家庭福祉の行政機関で働く専門職について	子ども家庭福祉の専門職を理解する
7 回	母子生活支援施設の実態と援助内容について	母子生活支援施設の実態と援助内容を理解する
8 回	ひきこもりの実態と援助について	児童養護施設の実態と援助内容を理解する
9 回	障がいのある子どもの福祉に関する動向とサービス	障害児福祉の制度やサービスを理解する
10 回	ケーススタディ①知的障害児への援助事例を考察する	援助事例を分析する力を身につける
11 回	ひとり親家庭に関する動向と福祉サービス	ひとり親家庭の制度やサービスを理解する
12 回	ケーススタディ②ひとり親家庭の援助事例を考察する	援助事例を分析する力を身につける
13 回	児童虐待が子どもに及ぼす影響について	児童虐待を受けた子どもを理解する
14 回	ケーススタディ③被虐待児への援助事例を考察する	援助事例を分析する力を身につける
15 回	子ども家庭福祉の現状と課題について考える	国際社会における家庭福祉の問題を理解する
試験	定期試験	

